|  |
| --- |
| 高校国語への基礎練習　確認テスト |
| 学年 |
|  |
| クラス |
|  |
| 番号 |
|  |
| 氏名 |
|  |

※　答えは〈解答用紙〉に記入しなさい。

３　アツい

　漢字について、次の問いに答えなさい。

問一　次の同訓異字のカタカナを漢字に直しなさい。

１　オサめる

①　会社にツトめる。

２　ツトめる ②　実現にツトめる。

③　委員長をツトめる。

①　アツいお茶を飲む。

②　アツい本。

③　手アツい指導。

④　アツい夏を過ごす。

①　席をタつ。

②　消息をタつ。

４　タつ ③　退路をタつ。

④　生地をタつ。

⑤　家がタつ。

問二　次の熟語の対義語を 　　　 から選び漢字に直しなさい。

１　絶対 ２　原則

３　期待 ４　天然

シツボウ・レイガイ・タイカ・ジンコウ・ソウタイ

問三　次の１～５の熟語の組み立ては、あとのア～オのどれにあたるかを考え、記号で答えなさい。

１　細心

２　優劣

３　国立

４　出題

５　永久

ア　同じような意味の漢字を重ねたもの。

イ　下の字が上の字の目的語になっているもの。

ウ　上の字が下の字を修飾しているもの。

エ　反対または対応の意味を表す字を重ねたもの。

オ　主語と述語の関係にあるもの。

　文法について、次の問いに答えなさい。

問一　次の各文について、傍線部と〔　　〕内の関係にある連文節を抜き出しなさい。

１　風に　乗って　飛んで　きた　花びら。〔連体修飾部〕

２　赤い　花が　きれいに　咲いた。〔主部〕

３　庭に　白い　チョウと　赤い　トンボが　いる。〔並立〕

４　彼は　目を　輝かせて　話す。〔連用修飾部〕

問二　次の単語を、あとのア～ウに分類し、記号で答えなさい。

１　見事に（咲く） ２　雄大な（風景）

３　きれいだっ（た） ４　大きな

５　美しかろ（う） ６　雨だ

７　暑さ ８　少なかっ（た）

ア　形容詞

イ　形容動詞

ウ　どちらでもないもの

問三　次の各文中の傍線部の動詞の活用の種類は、何行何活用かを答えなさい。

１　勉強するときは集中してやろう。

２　父が家から出てくると思いました。

３　目の前に車が止まる。

４　もう彼は来ないだろう。

５　朝だぞ。いいかげんに起きろ。

問四　次の各文中の傍線部の助動詞「れる・られる」は、あとのア～エのどの意味か。記号で答えなさい。

１　校長先生が来られた。

２　母にられた。

３　つらい練習にえられるか。

４　遠い故郷のことが思い出される。

ア　受身 イ　尊敬

ウ　自発 エ　可能

　敬語表現について、次の問いに答えなさい。

問一　次の各文中の傍線部の言葉は、どのような敬語表現か。あとのア～ウから選び、記号で答えなさい。

１　これが、昨日、おたずねになった本です。

２　おいしそうですね。いただきます。

３　いろいろご心配をかけました。

４　お弁当の時間になりました。

５　たいへん、暑うございます。

６　父もよろしくと申しておりました。

ア　尊敬語 イ　謙譲語

ウ　丁寧語

問二　次の傍線部を、助動詞の「れる」「られる」を用いない敬語表現にかえなさい。

１　あの方が私の料理を食べられた。

２　あなたが見られたのですか。

３　社長がぼくにこう言われた。

４　先生が、ぼくの家に来られた。

　慣用句について、次の問いに答えなさい。

問一　次の各文を意味の通る文にするためには、〔　　〕にあとのア～オのどれを入れたらよいか、記号で答えなさい。

１　〔　　〕その会への出席をとりやめた。

２　〔　　〕料理のかずかず。

３　運転免許をとったばかりとはいえ、実に〔　　〕腕前だ。

４　〔　　〕楽しんだ。

５　油断は禁物だ。〔　　〕やってくれ。

ア　心ならずも イ　心して ウ　心ゆくまで

エ　心もとない オ　心尽くしの

問二　次の各文は身体に関係する慣用句です。下段の意味になるように、〔　　〕に当てはまる言葉を答えなさい。

１　目から〔　　　　〕ぬける。＝ぬけめがなく、すばしこい。

２　目が〔　　　　〕。 ＝物を見分ける力がすぐれている。

３　鼻で〔　　　　〕。＝いいかげんに扱う。

４　〔　　　　〕で鼻をる。＝ひどく冷淡に扱う。

５　ひざを〔　　　　〕。＝親しく話し合う。

６　ひざを〔　　　　〕。＝感心したり、はっと気付いたりする。

７　身も〔　　　　〕もない。

＝はっきりしすぎて情味も面白味もない。

８　身の〔　　　　〕がない。＝心や体が落ち着かない。

　次の時刻と方位を答えなさい。

１　丑の刻 ２　酉の刻

３　午の方位 ４　卯の方位

　次の古文を読んで、以下の問いに答えなさい。

、の家にて人とをうちけるを、とＡいふ僧きたりて、、様々のをしけるを、にくしにくしと思ひけれども、物もいはでＢうちゐたりけるに、①この僧さかしら立ちぬ。Ｃかへりぬと思ひて、亭主、「この越前房はよき程の者かな。」といひたりけるに、かの僧いまだ帰らで、亭主のうしろに立ちたりけり。、また物いはせじとて、②亭主のひざをつきたり

けんじよ

ければ、うしろへ見むきて、③見れば、この僧いまだありけ

り。この時④とりもあへず、「越前房は。⑤よき程の者な。」とＤいひなほしたりける、心はやさ、いと

⑥をかしかりけり。

注※**双六**　奈良時代に中国から伝承した室内遊戯。二人で行う。

問一　傍線部①「この僧」と同一人物を表す語を文章中のこれより前の部分から三字で抜き出して書きなさい。

問二　二重傍線部Ａ～Ｄを現代かなづかいにして、すべてをひらがなで書きなさい。

問三　傍線部④・⑤の意味として最も適当なものをそれぞれ次のア～エから選びなさい。

④　ア　やむをえず　　　　イ　しばらくして

　　　ウ　あわてふためいて　エ　すぐに

⑤　ア　よいかげんの人　　イ　思慮分別のある人

　　　ウ　頑固な性格の人　　エ　頭のよい人

問四　傍線部②「亭主のひざをつきたりければ」は、誰が何のためにしたことか。最も適当なものを次のア～エから選びなさい。

ア　越前房が「或人」にでたらめを言わせないため。

イ　孝道入道が「或人」に悪口を言わせないため。

ウ　「或人」が孝道入道に陰口めいたことを言わせないため。

エ　越前房が孝道入道に負け惜しみを言わせないため。

問五　傍線部③「見れば」の主語を文章中から三字以上五字以内で抜き出して書きなさい。

問六　傍線部⑥「をかしかりけり」について、答えなさい。

(1)　文章中での意味として最も適当なものを次のア～エから選びなさい。

ア　滑稽だった　　イ　おもしろかった

ウ　情けなかった　エ　つまらなかった

(2)　作者は考道入道のどんな点について「をかしかりけり」と感じたのか。最も適当なものを次のア～エから選びなさい。

ア　悪口を、逆にほめ言葉だと解釈して気持ちを収めた点。

イ　悪口を言われたが同じ言葉で逆に相手をやり込めた点。

ウ　悪口として言った同じ言葉ではぐらかして切り抜けた点。

エ　悪口を言った相手にも腹を立てないで、許してあげた点。

問七　古文の内容に一致するものを次のア～エから選びなさい。

ア　孝道入道は越前房を憎らしいと思った。

イ　孝道入道は双六の勝負に敗れた。

ウ　孝道入道は越前房と双六を打っていた。

エ　孝道入道は双六の途中で退席した。

　次のように番号順によむことができるように、返り点を書きなさい。

１　　　　　　　。

２　　　　　。

３　　　　。

４　　　　　　。

５　　　　　　　。